

日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス 開催報告

外国出身の子どもたちが高校に進学できるように支援するため、「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を開催しました。当日は、11か国出身の生徒やその保護者など132人が参加し、高校の先生などに熱心に相談していました。

また、中学生の時に来日して、高校進学を果たした先輩の体験談では、日本に来た時の不安な気持ちや、どのように受験勉強したのか、そして今どんな高校生活を送っているのかなどを聞くことができ、参加者から励みになったという声が聞かれました。

■ 実施日：平成25年8月3日(土) 13:30～16:30

■ 会場：大宮ソニックシティ4階 市民ホール（JR大宮駅西口）

■ スケジュール：

時間	内容	担当
【オリエンテーション】		
13:30～13:40	開会あいさつ	
13:40～14:00	高校進学について	教育局高校教育指導課 指導主事 菅崎 俊幸
14:00～14:20	高校に進学した先輩達の 体験談	岩槻高校と戸田翔陽高校に 在学中の高校生
14:20～14:30	相談ブースのご案内	司会
【相談コーナー】		
14:40～16:30	相談ブースでの個別相談	

■ 参加費：無料

■ 参加者：132人

<内訳>

生徒（中学生や、母国で卒業してから日本に来た人など。親だけが来たケースも含む）
50人

保護者や家族など随行者 70人

その他の参加者（学校の教員など） 12人

〔

出身国 中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、インドネシア、韓国、ギニア、
タイ、パラグアイ、モンゴル、イタリア（11カ国）

※日本人で外国育ちの場合は、育った国でカウントしています。]

■ 主催：（公財）埼玉県国際交流協会、県国際課、（公財）埼玉県産業文化センター

■ 後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■ 会場の様子



オリエンテーションでは、言語別テーブルに分かれて高校受検について説明を受けました。



受検の体験談を話してくれた、中国出身の高校生。後半の高校生ブースも人気でした。



高校ブースでは、高校の先生に直接相談することができます。人気の高い戸田翔陽や岩槻高校のほか、今回は南米の方の参加が多かったため、北部地域の高校も列ができていました。



受検について全く分からない人は、教育局の担当者から全体的な説明を聞くことができます。そのほかにも、奨学金や資格認定についても相談を受けるブースを作りました。